

番号	工 種	図面番号	質 疑 事 項	御 回 答
			(解体・土壌汚染対策)	
1		解体A-08	解体図『A-08』に『雨水集積場所(+0.79)』との記載がありますが、土壌汚	ご質問の解体図『A-08 外構配置図(撤去後)』に示す地形は、土壌汚
		土壌D-001	染対策工事の区画については、解体時には土の移動はできないと考え	染対策図『D-001』の「6. 品質管理(2)既存構造物の解体手順 1) 及び
			ます。また、解体工事に引き続き土壌汚染対策工事を実施するため、	2)」に示す「⑤清浄土埋戻し」後の時点のものと見込んでください。
			雨水集積場所は不要として既存のレベルでの解体とし、区画部分の基	なお、形質変更時要届出区域内の既存構造物の基礎等の深度により、
			礎解体が必要な場合は土壌汚染対策工事とともに実施するものと考え	土壌汚染対策工事中に解体工事を行う必要性が想定されることについ
			て宜しいでしょうか。	ては、お見込みのとおりで。
			(構 造)	
2		—	土間スラブ下の地業について、詳細が不明です。砕石の厚みはt100と	ご質問の土間スラブ下の地業については、公共建築工事標準仕様書
			考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	(P23)に記載のあるとおり、『砂利 t=60』及び『捨コン t=50』として見込ん
				でください。
3		S-051	構造図『S-051』の雑配筋図(1)のうち、設備基礎配筋図に空調室内機、	ご質問の設備基礎については、意匠図『A-051～056』の記載を参考に、
		A-051～056	受変電設備及びオイルタンク基礎が記載されていますが、意匠図には	次のとおり見込んでください。
			記載がありません。適用なしと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	・空調室内機基礎…2階 機械室2-1・2-2(6箇所)、3階 機械室3-1・
				3-2(6箇所)、4階 機械室4-1(1箇所)の記載(実線)を参考にしてくだ
				さい。また、4階 電気室は『W1,000×D700』を2箇所(位置は打合せ
				による)を見込んでください。
				・受変電設備基礎…4階 電気室キュービクル(1～20)直下の記載(実

番号	工 種	図面番号	質 疑 事 項	御 回 答
				線)を参考にしてください。
				・オイルタンク基礎…4階 発電機置場の『OT』廻り4箇所のほか、外周の
				『RC立上り H150』の記載が相当するものとして見込んでください。
4		S-048～051	構造図『S-048～051』に記載の各立上りの配筋要領は、『縦横D10@	ご質問の鉄筋コンクリート立上りの配筋要領について、構造図『S-048～
			200ダブルクロス(端部D13)』と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	051』の各リスト及び詳細図に記載のないものについては『縦横D10@200
				ダブル配筋, 端部2-D13』として下さい。
5		S-051	構造図『S-051』の雑配筋図(1)に車止めポール用基礎が記載されていま	ご質問の『車止めポール用基礎』については、意匠図『A-174及び181』
		A-174, 181	すが、意匠図には記載されておりません。適用なしと考えて宜しいでしょ	に記載の『立入防止柵』を参考に見込んでください。
			うか。ご指示下さい。	
6		S-038, 038A	構造図『S-038及び038A』に記載の柱のサブフープ筋は、全てI型と考え	お見込みのとおりです。なお、構造図『S-038及び038A』の柱リスト及び
			て宜しいでしょうか。ご指示下さい。	柱配筋詳細図を参考にしてください。
7		S-035, 036	構造図『S-035及び036』に記載の地中梁のサブスターラップ筋は、全て	お見込みのとおりです。なお、構造図『S-035及び036』の地中梁リスト及
			I型と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	び地中小梁リストを参考にしてください。
8		S-046, 055	構造図『S-046』の鉄骨間柱リストに、M5及びM15のボルト『2-M20』と記	お見込みのとおりです。
			載されていますが、構造図『S-055』に記載の鉄骨詳細図(4)には『2-M	

番号	工 種	図面番号	質 疑 事 項	御 回 答
			16』と記載されており、相違しています。鉄骨詳細図(4)を正とし、『2-M	
			16』と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	
9		S-004	構造図『S-004』の鉄骨構造標準図(1)に『ダイアフラムは接続する梁の最	お見込みのとおりです。
			大厚の2サイズアップ以上(コンクリート充填柱は3サイズアップ以上)』と	
			載されていますが、通しダイアフラムだけではなく内ダイアフラムにも適用	
			するものと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	
10		S-052～055A	構造図『S-052～055A』の鉄骨詳細図(1)～(5)に記載の主柱SC1及び	お見込みのとおりです。
			SC2に通しダイアフラム及び内ダイアフラムが示されていますが、通しダ	
			イアフラム及び内ダイアフラムの使い分けが不明です。主柱のダイアフ	
			ラムについて次のように考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	
			・SC1…最上階及び最下階の梁接続部は通しダイアフラムを適用し、そ	
			の他の梁接続部は内ダイアフラムを適用する。	
			・SC2…最上階梁上端及び最下階梁下端接続部は通しダイアフラムを	
			適用し、その他は内ダイアフラムを適用する。	